

TSURUGIKAI

2025.05.01



TOPIC 1

みなさんの声で調査!
「公園」×「こどもの居場所」

TOPIC 2

令和7年度予算特集
「わたしの注目点」

TOPIC 3

令和7年度予算特集
「激論の審査!!」

つるがしま市議会だより
令和7年3月議会報告



みなさんの声で調査!!



鶴ヶ島市議会では、所管事務調査を行い、市に提言を行いました。

所管事務調査ってなに？

所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその委員会が所管する事務について市政の各分野における課題の解決に向けて調査を行い、市長等の執行機関に対して具体的な政策や施策を積極的に提言するものです。

みなさんの意見はこうして活かされます！

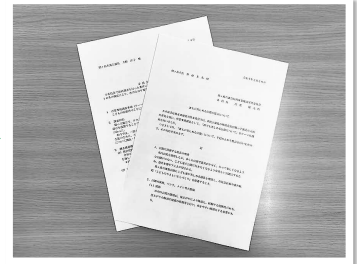
所管事務調査の手順



市民と議員の懇談会や鶴っ子議会でいただいた意見から、



テーマを決め、しっかり調査をし、



委員会でまとめて、提言や報告を市長などに行います。

所管事務調査の効果

- ・ 所管事務調査を実施することで、それを所管する委員会の専門性を発揮した政策提案ができる。
- ・ 行政執行の監査機能の充実が図れる。
- ・ 委員の知識が深まる。
など、いいこと尽くめです。

議員全員で視察！つくばみらい市！

所管事務調査の先進地である茨城県つくばみらい市を視察しました。茨城県つくばみらい市では、「特定所管事務調査」として、案件を特定し、1年を通して調査研究し、本会議で最終報告をし、執行部に提言を行っています。

本市では、令和6年度より、所管事務調査を実施しております。先進的に実施しているつくばみらい市議会の視察を通して、いろいろなノウハウを得ることができ、実りある研修となりました。



誰でも楽しめる公園

総務産業建設常任委員会

市民と議員の懇談会や鶴っ子議会で、市内の公園に関して、遊具が少ない、バスケットコートが欲しい、きれいなトイレにして欲しい、夏に雑草が多く遊べなくなる等の意見がありました。公園のハード面、ソフト面を含め、誰でも一緒に楽しめる公園について調査・研究を進めることとなりました。



令和6年11月11日及び12日に市内公園9か所と近隣市の公園2か所を視察しました。



執行部に公園についての説明を求めました。最終的に、委員で、現状の状況、問題点などを協議し、提言としてまとめました。



提言書を市長に提出!!



提言書

誰でも楽しめる公園の提言

- 1 運動公園の遊具の増設
- 2 トイレ、園路、ベンチの管理
- 3 スケートボード場の設置

こどもの居場所づくり

文教厚生常任委員会

市民と議員の懇談会や鶴っ子議会で、「クラスに入れない児童の特性に合った場所の設置で、多くの児童が学校に居場所ができるのでは」という意見がありました。一部の市内小・中学校で、学校に来て教室に入ることができない児童・生徒のために、スペシャルサポートルームを設置しています。これらのことから、こどもの居場所づくりについて調査・研究を進めることとなりました。



議員を対象にした授業公開の際に、各小・中学校のスペシャルサポートルームの設置状況などを調査し、委員で現状や課題などを協議し、報告としてまとめました。



議長に調査結果を報告!!



調査の結果

各学校では、児童・生徒に対して、人員が満足でない中、それぞれにスペシャルサポートルームやそれに類似した対応しており、その取組は、評価できる。スペシャルサポートルームを必要とする学校からは、人員の確保を望む声が多かった。

これからの鶴ヶ島のために

わたしの注目点

一般会計 約255億7000万円

特別会計(合計) 約133億9383万円

公明党

歴史的決着と新たな展開

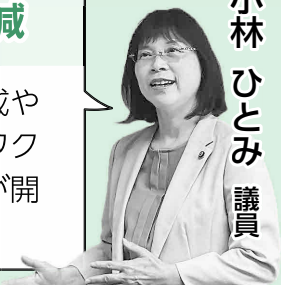
区画整理事業と土地開発基金現金化の歴史的決着と都市計画や市民生活等の新たな展開。



山中 基充 議員

子育て世帯の負担軽減

1か月児健診の費用の助成やこどものインフルエンザワクチン接種費用の全額助成が開始。



小林 ひとみ 議員

福祉・保健の充実

こども家庭センター設置、認定こども園の整備支援、感染症予防接種の助成などが充実！



今野 雄一 議員

誰のための予算なのか

選挙イヤーを印象付ける予算。4年に1度の大盤振る舞いは市長のためか、市民のためか。



小川 尋海 議員

新政クラブ

未来を創る予算

齊藤市長2期目最後の予算となります。5年、10年先を見据えた予算となっている！



高橋 剣二 議員

教育環境の充実!!

全ての小・中学校において、民間施設を活用した水泳指導の民間委託事業に期待。



小川 茂 議員

後期計画の幕開けぜよ

東部地域の発展や自治会の再生に向けた調査などをし、今後の鶴ヶ島の礎を築く予算編成。



瀧嶋 正紀 議員

鶴ヶ島発展の事業は？

- ①人口増加施策の導入
- ②若い世代の移住促進
- ③こどもを生み育てやすい施策等をチェック！



杉田 恭之 議員

すだち

まちの活性化へ前進！

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想が具体的に、そして、総合的に動き出します！



大曾根 英明 議員

こどもへの多様な支援

通級が小学校全校に、又校内教育支援センターの整備が進められる。



大野 洋子 議員

市長に危機感がない！

エビデンスに基づかない事業や公平性を欠く事業が複数。人口減少時代に対応できない。



福島 恵美 議員

シティプロモーション

本市の魅力を皆で再発見し市内外に発信、とてもわくわくする事業が始まる。注目！



村上 信吉 議員

喜べない重点施策

市民が喜べない施策では市民満足度は上がらない！もっと選ばれる施策が必要だ!!



長谷川 清 議員

日本共産党

増えた税収等の使い道

民生費、衛生費など市民福祉向上の新規・拡充事業に充当され、臨時債含め市債の減額が図られた。



太田 忠芳 議員

物価高騰への支援策

学校給食の食材の値上がり分の約5,300万円を市が負担することなどに注目。



小島 幸広 議員

かがやき

こどもから高齢者まで

こども家庭センター、学校水泳指導民間委託の新規事業、予防接種、がん患者等への支援。



高篠 雅洋 議員

市の魅力発信の実行性

シティプロモーション推進事業により、市の魅力をいかに効果的に発信できるか！



内野 嘉広 議員

ごみ集積所設置に助成

取組が進んだのは評価。一方、集積所設置は自治会とは本来無関係。戸別収集の検討を。

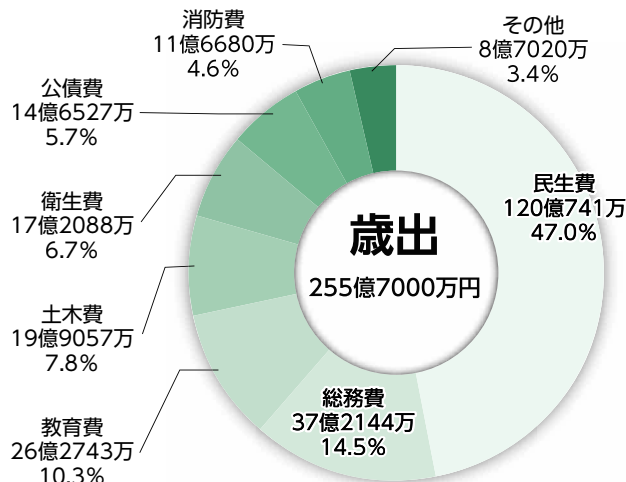
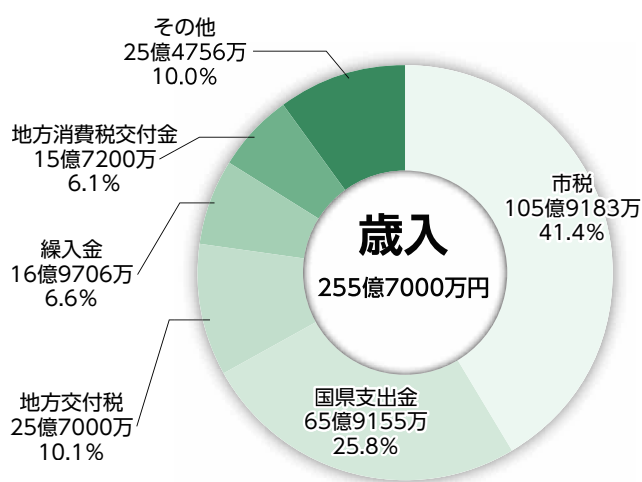


出雲 敏太郎 議員

令和7年度 一般会計予算

激論の審査！！

令和7年度の一般会計予算と特別会計予算（5議案）は、所管の常任委員会に付託・審査し、最終日の本会議での採決の結果、可決しました。



市税	市民税、固定資産税などの税収
国県支出金	特定の事業のために国・県から支出されるお金
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
繰入金	他会計や基金から繰り入れるお金
地方消費税交付金	県の地方消費税収の中から市に対して交付されるお金

民生費	こども、高齢者、障害者などの福祉全般に使うお金
総務費	住民窓口、課税徴収、ICTなど市の総括的な事務に使うお金
教育費	学校運営、生涯学習、スポーツなど教育全般に使うお金
土木費	道路、公園整備などに使うお金
衛生費	保健衛生、公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
公債費	市債を返済するために使うお金
消防費	消防や災害対策に使うお金

総務費 公共施設予約運営事業

事業内容

公共施設予約システムの更新を行う。新たなシステムでは、従来の予約機能に加え、オンライン決済を導入するなど「来庁しなくてすむ行政サービス」を推進する。

委員からの質疑

Q 具体的な変更点は。

A オンライン決済の導入やスマートフォンサイトで許可証の表示を可能にする。また、システムの視認性を大幅に改善する。

Q オンライン決済の種類は。

A 現段階では、クレジットカード、ペイペイ及びコンビニ決済等を想定している。

予算現額 2,522万6,000円



公共施設予約システムを改善

総務費 シティプロモーション推進事業

事業内容

シティプロモーションサイトの開設や動画コンテンツの制作、PR啓発品の制作などの手法を活用して、市内外に向け魅力の発信を行う。また、専門的な知見を得ながら効果的なシティプロモーションを推進する。

委員からの質疑

Q 市民団体、民間団体との連携は。

A 若者向けの発信は学生団体に、市内向けの発信は高齢者団体と、食では飲食の団体と連携するなど、対象に応じた団体と連携し、幅広い層に情報を届ける。行政と市民団体が一体となって進めていきたい。

予算現額 784万8,000円



市の魅力を発信！

衛生費 ゼロカーボン推進事業

事業内容

- ①ゼロカーボン推進店認定制度の運営やヘチマ・プロジェクト、三宅島こども自然環境体験プログラム、森林協定に基づく連携事業を実施する。
- ②優先導入施設として選定した23施設へLED照明を導入する。
- ③5Rを推進する「エコ鶴市民の会」へ補助金を交付する。

委員からの質疑

Q こども自然環境体験プログラムの場所に三宅島を選定した理由は。



こみが流れ着いている三宅島の海岸

A 本市と異なる豊かな自然を有することや自治体の受入れ実績があることなどから選定した。

予算現額 168万5,000円

総務費 地域防犯推進事業

事業内容

- ①関係機関と連携した街頭防犯啓発活動や青色防犯パトロールの実施、防犯情報の周知及び防犯啓発用品（のぼり旗）の配布を行う。
- ②地域における防犯対策の一環として、若葉駅西口周辺及び公園に街頭防犯カメラを設置する。

委員からの質疑

Q 防犯カメラ設置箇所の選定理由は。

A 西入間警察署の助言を基に、街頭犯罪の発生が懸念される若葉駅西口周辺の自由通路や駅前のロータリー、運動施設のある大きな公園の出入口や駐車場などへの設置を計画している。



防犯カメラの設置を検討

予算現額 336万5,000円

教育費 小・中学校情報教育推進事業

事業内容

児童・生徒の学習用タブレット端末を更新し、情報教育に必要な1人1台の端末環境を維持する。

委員からの質疑

Q 更新端末の導入時期は。

A 12月に導入し、3学期から活用する予定である。

Q その間の故障の対応は。

A 手作業でできる修理は、ヘルプデスクなどで対応し、対応できないものは業者が故障修理を行う。

その間は、こどもたちに予備機を使用してもらい対応する。



学習用端末の更新

予算現額 6,997万2,000円

民生費 民生委員・児童委員活動支援事業

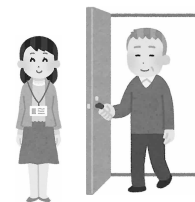
事業内容

- ①民生委員法に基づき行う民生委員推薦会の開催に必要な経費
- ②鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会へ交付する補助金のうち、各委員に支給する活動費を月7,000円から月10,000円へ増額する。

委員からの質疑

Q 補助金を増額した背景は。

A 他市の状況なども踏まえ、物価高騰の影響により訪問や電話に係る費用などが不足していると判断した。



予算現額 1,235万1,000円

特別会計予算 ()は、前年度予算額

国民健康保険	約65億4093万円 (約66億4681万円)	一本松土地区画 整理事業	約1億8789万円 (約1億1779万円)
後期高齢者医療	約12億8427万円 (約12億6601万円)	若葉駅西口土地 区画整理事業	約2億9410万円 (約1億9178万円)
介護保険	約50億8664万円 (約48億1452万円)		

16人が実施



一般質問



一般質問とは、議員が市の一般事務について執行機関に対し説明や報告を求めるものです。3月議会は、3日間にわたって熱い議論が繰り広げられました。ここでは、その概要をお知らせします。その他の質問もありますので、気になる議員を見つけたら、二次元コードから、当日の様子をチェック！

福祉・健康

介護保険制度	太田 忠芳	p8
孤立対策	大曾根英明	p9
朝の「小1の壁」への対応	小林ひとみ	p9
超高齢化・多死社会	小川 尋海	p9
市民生活応援の市政を	小島 幸広	p10
児童虐待の支援体制	福島 恵美	p10
認知症施策の推進	今野 雄一	p10

教育・文化

(新)鶴ヶ島中学校開校に向けて	出雲敏太郎	p11
-----------------	-------	-----

市民生活

地域を支える拠点づくり	小川 茂	p11
本市庁舎の安心安全と利便性の向上	瀧嶋 正紀	p11

産業・環境

豊かな自然のまちづくり	村上 信吉	p12
ふるさと納税	杉田 恭之	p12
農業振興と都市基盤	高篠 雅洋	p12

市政運営

公共施設等の維持管理	長谷川 清	p13
人口減少対策	内野 嘉広	p13

その他

人事院勧告からみる本市の課題	山中 基充	p13
----------------	-------	-----

福祉・健康

介護保険制度の今後の対応は



安心して介護サービスが受けられるように

今後誰もが安心して介護サービスを受けられるように、地域の状況に応じた介護保険制度の安定的な運営に努める。

また、今年度第10期事業計画策定に向けたニーズ調査を実施し、地域の介護需要などの検証を行った。今後どのようなサービス提供体制を整備すべきかを検討していく予定である。

また、今年度第10期事業計画策定に向けたニーズ調査を実施し、地域の介護需要などの検証を行った。今後どのようなサービス提供体制を整備すべきかを検討していく予定である。

問 介護サービス提供体制の危機が叫ばれている。本市の認識と対策は。



おおた ただよし
太田 忠芳
議員



福祉・健康

孤立対策について



誰も孤立しない社会へ

問 65歳以上の単身世帯について。
答 一般的に単身高齢者は、地域との関係性が希薄であり、地域からの孤立を防ぎ、必要に応じて適切な支援につなげる体制づくりが不可欠である。
民生委員や生活支援員など単身高齢者宅を中心とした個別訪問をしている。また、要支援・要介護認定を受けていない75歳以上の高齢者にアンケート調査を実施し、要介護に陥るリスクの高い方やアンケート未回答者の自宅を訪問し、必要な相談・支援につなげている。ほかにも、高齢者に限定せず、市と市民、事業所などが連携した鶴ヶ島市見守りネットワークの取組を推進し、見守りや声かけ、気がかりなことがあった際に市や地域包括支援センターへの通報をお願いしている。



おおそねひらあきら
大曾根英明
議員



福祉・健康

朝の「小1の壁」への対応を



朝の受入れでこどもの居場所を

小学校入学に伴って、こどもを預けられる時間が短くなり、保護者が仕事を続けにくくなる、いわゆる「小1の壁」。本市でも少子化が進む一方で、保護者の就業率は高くなっている。朝のこどもの居場所について伺う。
問 朝の受入れの必要性についての見解は。
答 核家族や共働き世帯の増加などに伴い、保護者が日中在宅しない家庭が増える中で、通勤や勤務形態などにより、早朝から保護者が不在となる家庭も想定される。そうした状況を踏まえると、学校の始業前の時間帯にこどもを受入れる必要性は、一定程度あると考える。
課題などを整理し、先進自治体の取組を参考にしながら、関係部署などと検討を進める必要があると考えている。



こばやし
小林ひとみ
議員



福祉・健康

超高齢化・多死社会をどう支えるのか



市の終活支援ノート「結び帳」

問 訪問介護サービスの事業者及び就業者への支援は。
答 訪問介護事業者には、財政面の支援として令和4年度及び5年度に地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰に対する支援金を交付した。就業者には、6年度から訪問介護を含めた介護分野の人材確保に向け、賃金アップに直接的につながる処遇改善加算等を拡充している。
問 終活の支援は。
答 平成30年度から終活支援ノートを発行している。また、成年後見制度の利用支援として、利用相談、市民向け講座の開催などを行っている。今後とも社会福祉協議会などと連携し、多くの高齢者が自分に合った終活を行うことができるよう支援していく。



おがわひろあき
小川尋海
議員



福祉・健康

今こそ市民生活応援の市政を



市民生活の応援を

問 子育て世代への施策について。
答 こども医療費助成制度は、令和6年10月診療分から、支給対象となるこどもの年齢を15歳から18歳到達後の最初の年度末までに拡大した。また、小・中学校や保育所、認定こども園の給食費の食材費の物価高騰分を市が負担し、保護者負担額が増額しないよう据え置いている。ほかにも、病児・病後児保育の無償化、第3子以降の多子世帯応援金の支給などを実施している。

問 高齢者への施策について。
答 高齢者に限定した物価高騰対策はしていないが、令和4年度及び5年度に地方創生臨時交付金を活用し、介護保険サービス事業者への支援を行い間接的に介護保険サービスの利用者の負担が増えないように対策を行った。



小島 幸広
こしま ゆきひろ
議員



福祉・健康

児童虐待増加の背景と求められる支援体制



相談先を紹介している「子育てガイドブック」

問 相談対応体制の現状と課題は。
答 現在、児童・家庭総合相談窓口を設置し、子育て支援相談員などが連携し、家庭内の様々な問題の相談を受けている。また、保健センターと連携し、妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援を通じて、児童虐待のリスクを早期に発見して軽減する取組を進めている。課題は、相談内容の複雑化や件数の増加への対応、児童の安全確保への的確なリスクアセスメントや、迅速な初期対応などである。

問 周知啓発活動は。
答 子育てガイドブックやホームページでの周知や相談先の紹介をしている。また、毎年児童虐待防止月間に広報やリーフレットなどでの周知を行うほか、年1回、外部講師を招いた児童虐待防止講演会などを行っている。



福島 恵美
ふくしま めぐみ
議員



福祉・健康

認知症施策の推進について



認知症予防と早期発見を

問 認知症予防の取組の現状について。
答 認知症予防脳トレ教室をはじめ、体操教室や閉じこもり・うつ・認知症予防を目的とした教室を開催している。更に、シルバースポーツの推進など各種介護予防事業などの展開で外出の機会を増やし、認知症予防に近づけている。昨年度から聴力機能の低下によりコミュニケーションに支障のある高齢者に対し、補聴器の購入費の一部助成も開始した。

問 軽度認知障害、認知症の早期発見の取組について。
答 要介護のリスクが高い方の早期発見のため、高齢者実態把握調査を実施している。もの忘れに係る設問もあり、該当者にはもの忘れ相談会の周知を行うなど、認知機能に不安を抱える方に対し、早期の支援に努めている。



今野 雄一
いまの ゆういち
議員



教育・文化

(新)鶴ヶ島中学校開校に向けて



(新)鶴ヶ島中学校の開校に向けて

問 再編前の鶴中と西中の交流は。

答 鶴ヶ島中学校の生徒会役員が西中学校の生徒会役員を学校に招き、お互いの学校や活動の情報交換をしたのち、校内を案内した。また、部活動では、練習試合や合同練習などで交流を深めている。ほかに、特別支援学級でも(新)鶴ヶ島中学校に係属する小・中学校の児童・生徒が合同で授業を行い、交流を深めている。今後は、校外学習や修学旅行などの学年行事や交通安全教室などの学校行事を合同で実施できるよう取り組む。

問 来年度以降、生徒の不安を軽減させるための取組は。

答 関係する小学校の児童に再編の情報を随時提供し、(新)鶴ヶ島中学校への入学に期待を持ってもらえるよう努める。



いずも 太郎
出雲敏太郎
議員



市民生活

地域を支える拠点づくり



更なる拠点づくりを

問 近年の市民センターの利用状況の推移は。

答 令和2年度の約10万8000人から、5年度は約27万人に増加している。しかし、コロナ禍前の元年度は約37万5000人であり、利用者は増加しているが、コロナ禍前の水準には回復していない。

問 市民センターの管理運営の課題は。

答 市民センター条例に定める地域活動や地域福祉の推進の支援が十分に果たせていないことである。

問 今後、更なる地域を支える拠点づくりに必要な取組は。

答 地域活動や地域福祉の推進の支援という市民センターの役割を果たし、自治会の負担軽減などと併せて機能拡充を検討し、地域を支える拠点づくりを推進していく。



おがわ しげる
小川 茂
議員



市民生活

本市庁舎の安心安全と利便性の向上



避難誘導プレートで障害者に配慮

問 火災発生時の来庁者への避難誘導は。

答 市庁舎には、職員による自衛消防隊を組織しており、火災発生時には、来庁者や職員の避難誘導を行っている。

問 毎年の庁舎の消防訓練で、障害のある方や、自力で避難することが困難な方を想定した実践的な避難訓練を実施している。

答 庁舎利用時の障害者への配慮は。

問 点字ブロックや点字案内板、東側玄関に誘導チャイムを設置し、視覚や聴覚に障害のある方が安心して利用できるようにしている。

答 また、多機能トイレを整備し、車椅子が利用できる広さや補助手すりなどの設置、人工肛門などに対応したオストメイト設備を備えるなど、多様な方が利用できるよう配慮している。



たかしま まさのり
瀧嶋 正紀
議員



産業・環境

豊かな自然を魅力とするまちづくり



豊かな自然があふれる市民の森

問 貴重な樹林地、屋敷林、市民の森を守るための考え方と長期的な計画と達成度は。

答 公園や緑地などの都市の緑は、潤いと安らぎを与え、延焼防止など都市活動を支える重要な役割を担っている。そのため、公園の整備に加え、土地所有者の理解と協力の下、樹林地を「市民の森」として借用し、市民に公開している。市民に安心・安全、快適に利用していただくことを目的とし、各年度で計画して維持管理を行っている。

問 「市民の森」保全の今後の計画は。

答 土地所有者の事由による契約解除は避けられず、市民の森が減少することはやむを得ない。鶴ヶ島グリーンパークなどの緑地の維持管理や整備を進め、魅力の一つとなるよう努める。



むらかみ しんいち
村上 信吉
議員



産業・環境

「ふるさと納税」プラスかマイナスか



ふるさと納税の充実でより良い鶴ヶ島へ

問 収入寄附額の使い道は。

答 令和5年度の充当事業は額が多い順に、未来を担う子どもたちを応援する事業、活力に満ちたまちづくりのための事業、身近な緑の保全と地球温暖化防止のための事業、文化芸術活動を振興するための事業、地域で支え合う健康福祉のまちづくりのための事業であった。寄附者による指定事業は、未来を担う子どもたちを応援する事業が最も多かった。

問 「ふるさと納税」は役に立っているか。

答 市の重要な自主財源の一つであり、多くの事業に役立っている。近年は、個人市民税の寄附金税額控除による税の市外流出が増加しており、寄附額の増額が重要である。返礼品のラインナップやその魅力の発信に積極的に取り組んでいく。



すぎた やすゆき
杉田 恭之
議員



産業・環境

農業振興地域と都市基盤の整備について



農業振興地域と都市基盤の連携

問 農業振興地域内の農地面積と農業振興地域外の農地面積は。

答 農業振興地域の面積は955.6ha、そのうち農地面積は459.1haである。農業振興地域外、すなわち市街化区域の面積は846.8ha、そのうち農地面積は43.9haである。

問 農業振興地域内での都市基盤整備との連携状況は。

答 農業振興区域で都市整備基盤と連携し農地以外の土地活用を進めることは相反している。農地の保全と都市基盤整備による産業活力向上のバランスを取りながら、必要に応じて関係部署と連携を図っている。双方の法律に基づきながら、要件に合った都市基盤整備の意向がある土地は、市全体の公益に向けて調整を図っていく。



たかしの まさひろ
高篠 雅洋
議員



市政運営

公共施設等の維持管理について



社会情勢を考慮した公共施設管理を

人手不足など多くの要因で建築費が高騰している。公共施設等の維持補修工事費等も大きく影響を受けるものと考え、質問する。

問 鶴ヶ島市公共施設等総合管理計画での影響は。

答 公共施設、道路や公園などのインフラ系施設の維持管理や更新などに係る費用の増額が懸念される。社会情勢などの変化に対応するため、同計画は原則5年で見直しをしており、令和8年度に改定予定である。

問 都市計画道路整備方針での影響は。

答 価格上昇の動向を踏まえ、限られた財源の中でより一層のコスト意識を持って取り組む必要がある。適正工期の検討や新技術の導入、建設資材における再生材料の活用などを行いながら計画的に整備を進める。



はせがわ きよし
長谷川 清
議員



市政運営

人口減少対策への戦略的アプローチ



人口減少対策を

転入促進策は。

問 市の重点戦略に基づき、若い世代や子育て世代に寄り添った施策を一体的に進めてきた。令和7年度からは、住宅取得を支援する補助制度を創設するとともに、市内外の多くの人から選ばれるまちを目指して、シティブランディングに取り組みたい。

問 転出抑制策について。

答 転出抑制には、市民の安心感や満足度の向上につながる取組が必要である。令和7年度からは、住まいや地域の防犯対策の充実を図るなど、住み続けたいと感じてもらえるまちづくりを進める。また、市民ニーズを把握し、当事者の声に耳を傾け、市政に活かすとともに、子育て世代などのターゲットを明確にした、効果的な情報発信に取り組む。



うちの よしひろ
内野 嘉広
議員



その他

人事院勧告からみる本市の課題



職員採用の現状

職員採用の現状について。

問 令和5年度に職員採用試験の受験科目を見直し、教養試験とSPI試験のいずれかを選択できるようにしたほか、応募手続の電子化や作文試験の廃止などを併せて行った。その結果、同年度の採用試験申込者数が前年度の約2・4倍となった。

問 専門試験を課さなかった職員の育成、研修は。

答 採用試験では筆記試験のほか集団討論面接試験、個人面接試験から能力などの判定を行っており、教養試験とSPI試験のどちらを選択した場合でも、市が求める職務遂行能力を満たす者を採用することができる。よって、採用時の試験科目に応じた研修などは実施していない。



やまなか もとみつ
山中 基充
議員



市民と

ギイン

議員

の

[6/29(日)] 10:00~12:00

懇談会

大橋市民センター
集会室



大曾根英明



内野嘉広

東市民センター
集会室



長谷川清



高橋剣二



村上信吉

北市民センター
集会室



杉田恭之



高篠雅洋



大野洋子



小川 茂



福島恵美

語ろう!

鶴ヶ島のまちづくり

- みなさんの声を市政に届けます。
- 議会への疑問、意見をお聞かせください!



瀧嶋正紀



出雲敏太郎



山中基充



小川尋海



今野雄一



小林ひとみ



小島幸広



太田忠芳



市民と議員の懇談会は、3チーム3会場で開催します。お近くの会場にお越し下さい。

北市民センターに保育(生後3か月以上)、大橋市民センターに手話通訳のサービスがあります。必要な方は、6月13日(金)までに議会事務局にお申込みください。

主催：鶴ヶ島市議会
問合せ：鶴ヶ島市議会事務局 TEL049-271-1111

発行 鶴ヶ島市議会

発行責任者 大野洋子(議長)

編集 広報広聴委員会

(委員長) 小林ひとみ

(副委員長) 今野雄一

(委員) 太田忠芳 小川 茂 村上信吉
福島恵美 高篠雅洋 内野嘉広

編集後記

市民の皆さんの「手に取ってもらえる議会だより」にするためにどうすればいいのか、広報広聴委員会で意見を出し合い、取組を開始したのが約2年前。少しずつ改良を重ね、このたび、表紙もリニューアルし、新しい「議会だより」が完成しました。皆さん、いかがでしょうか。以前の号があれば、ぜひ見比べてみて下さい。気付いていたかと思いますが、今後も議会を身近な存在に感じていただけるように、できるだけ分かりやすい、情報発信に努めてまいります。(小林)